

suma Ranzan Junior and Senior High School

## そこが知りたい! 調査ポイント



### 自慢

まず生徒の口から出てきたのは「先生」。なんでも話せる頼り甲斐のある存在だとか。そして、6学年分けてなく仲のよい仲間同士の絆も自慢。

### 必須アイテム

部屋のドアにかかっていたぬいぐるみをきれいに洗い「ゴンズイ」と命名。大会などに出場するときの守り神。また、大会ごとに衣装を模したお守りを作成する。



### 目標

全日本大学・高校ダンスフェスティバル(神戸)での決選に進出すること。予選は照明がないが、決選はライトを浴びてダンスを披露できるため、憧れもひとしおだ。



### メッセージ

活動は生徒主体で私はサポート。ときどき、口出しをし過ぎてけんかになることもあります(笑)。それだけ生徒たちが真剣なのだと感じます。



顧問

津坂美和子先生

### 部員

小田桐愛実さん(第3副部長) 開校初代部長(第3副部長)



作品をつくる過程で、部員同士で本音を話し合います。その中でお互い理解し合えたときがかけがえのない瞬間です。



## 作品づくりを通して

「照明 裸をつける 衣装完成 前髪 髪型 髪色」  
OKDC29+H

「作品づくりを通して」と副部長の小田桐愛実さん。部活動停止中の取り組みは、先生からの指導ではなく生徒たちが率先で行ったそうです。「生徒たちの自主性がどんどん育まれていくのを見てると、頼もしく感じますね」と津坂先生は目を細めます。「最初は、意見をなかなか言えませんでした。責任が増すにつれ、自分の考えを出しているようになりました」(小田桐さん)。「ダンスの技術指導を下級生に行うのも上級生の役割。学年が上がるにつれて、自分たちがしっかりとこなすようになっていきました」(関根さん)

## 主体性がどんどん身につく

「生徒たちに一番知ってほしいのは、音楽を聴き、体を使って表現することの楽しさです」と話すのは、自身も高校生のときまでクラシックバレエを習い続けていた顧問の津坂美和子先生。「基礎トレーニングにバレエのメソッドを取り入れますが、作品はバレエ以外に、ヒップホップやジャズなど、いろいろなジャンルを組み合わせた創作ダンスです」(津坂先生) 作品は生徒たちが主体になってつくり上げます。「まずは、どんな作品にしたいのかテーマをみんなで出し合います。それから、音楽探しを進めます。使いたい音楽があった場合は、順序が逆になることもあります。そして、振り付けや、衣装のデザインを考えるなど、役割分担をして一つの作品が完成します」と、作品づくりの過程を部長の関根桃香さんが教えてくれました。「幸せを届けたいという思いで、フラミンゴをテーマにした作品をつくれたときは、みんなでフラミンゴについてよく調べて、調べたことを報告し合っていました。コロナ禍で部活ができなくなったときも、オンラインでミーティングをしていました」と副部長の小田桐愛実さん。部活動停止中の取り組みは、先生からの指導ではなく生徒たちが率先で行ったそうです。「生徒たちの自主性がどんどん育まれていくのを見てると、頼もしく感じますね」と津坂先生は目を細めます。「最初は、意見をなかなか言えませんでした。責任が増すにつれ、自分の考えを出しているようになりました」(小田桐さん)。「ダンスの技術指導を下級生に行うのも上級生の役割。学年が上がるにつれて、自分たちがしっかりとこなすようになっていきました」(関根さん)

# School navi

第137回 Club Activity



あんな部活に入りたい! 気になる部活調査隊



「中学校にはどんな部活があるんだろう? そんな疑問に答えるため、いろいろな学校の名部活をリサーチしてきました!」

## 大妻嵐山中学校・高等学校

### ダンス部

設立 1995年  
部員数 38人  
活動日 月・火・水・金・土  
活動実績 学校総合体育大会埼玉県高等学校ダンスコンクール 特別賞、全国中学校ダンスコンクール出場 など

